

収量は一般に高く大いものが多い。しかし男爵薯では中心空洞や中心部の煮えない水薯が目立つものの、自分で作り食べる満足感から問題にされることは少ない。

貯蔵は風通しや緑化防止を考えミニコンテナ・ダンボール入り、または板の間に広げられている。休眠は10月に終わるので年内に芽かきが必ず行なわれている。

バレイショ栽培に関する質問事項

家庭菜園者または農家から問われる疑問質問には次のものが多い。

1. 植付け時種薯を切断したら内部が腐っていた。

凍結被害薯・黒色および褐色芯腐れが主で、流通段階の管理・種薯生産時の環境不良によるものである。

2. 種薯の中心に穴が空いていた、植えて良いか。

中心空洞で男爵薯の大いものに多く、今でも大いもほど大きい薯が取れると思っている人がいる。種薯として使用可能。

3. 種薯の切り口に木灰を付けなかったが大丈夫か。

木灰の効果はあまり期待できない。戦時中

の方法である。

4. 茎数は何本が良いか。

1～2本は倒伏して地端部が損傷しやすく、また中心空洞が増加する。調整しないほうが良い。

5. 花は取ったほうが良いか。

戦時中の技術と思うが、収穫増はあまり期待できない。

6. 薯を煮たら中心部が煮えずガリガリする。多肥栽培が原因である。

7. アブラムシ防除薬は何が良いか。

低毒性有機リン剤・合ピ剤等が適当であろう。濃度は正確に計量する事が大切である。

8. 残り薯を捨てたいがどこに捨てても発芽して困る。

肥料の空き袋に入れて密閉して陽光下におけば腐敗する。悪臭がするので腐敗後は地中に埋めると良い。

以上、北関東の人口6万余の街における家庭菜園のバレイショについて、栽培経験の実地調査及びアンケート等を基にして取りまとめたものであるが、バレイショは今後も家庭菜園の代表的な作物として多くの人々に愛され、健康と喜びを与へ続けるであろう。

ポテトのスペル

わが国で、potatoの日本語的発音「ポテト」のせいかpotetoと間違っって書いてあるのをときどき目にします。英語の本場アメリカでもスペルを間違っうことがあります。

副大統領であったクエールさんの例ですが、中学生たちの綴り字競技（spelling bee）に招かれたおり、potatoに「e」をつけてpotatoeと直すというミスをしてし

まったことがありました。それなりの人が初歩的間違いをしてしまったため、この話が世界中に広がってしまいました。

このことがあってから、アメリカでは、先生が生徒たちに、『しっかり勉強しないと副大統領になってしまうよ』と言っているというジョークが生まれてしまったとか。副大統領という職は、もともと影が薄く、あまりなりたがらないためでしょうか。

（浅間和夫）